

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号は **Ⓛ** 表示です。

BOX No.370705

車両情報	ダイハツ アトレーワゴン 平成19年9月~27年4月	S32# / 33#系 1 / 2ページ ES-89Light	Type
	スバル ディアスワゴン 平成21年9月~27年4月		Opt. ドアロックリレーNLⅢ (EP070)

旧モデルは2 / 2 ページ参照のこと

❶ 注意事項

- ・クラッキング固定時間の設定 (セルモータを回す時間の変更) 機能は、使用できません。誤って設定を行うとクラッキング時間が短くなりますのでこの設定は行わないでください。

❶ Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

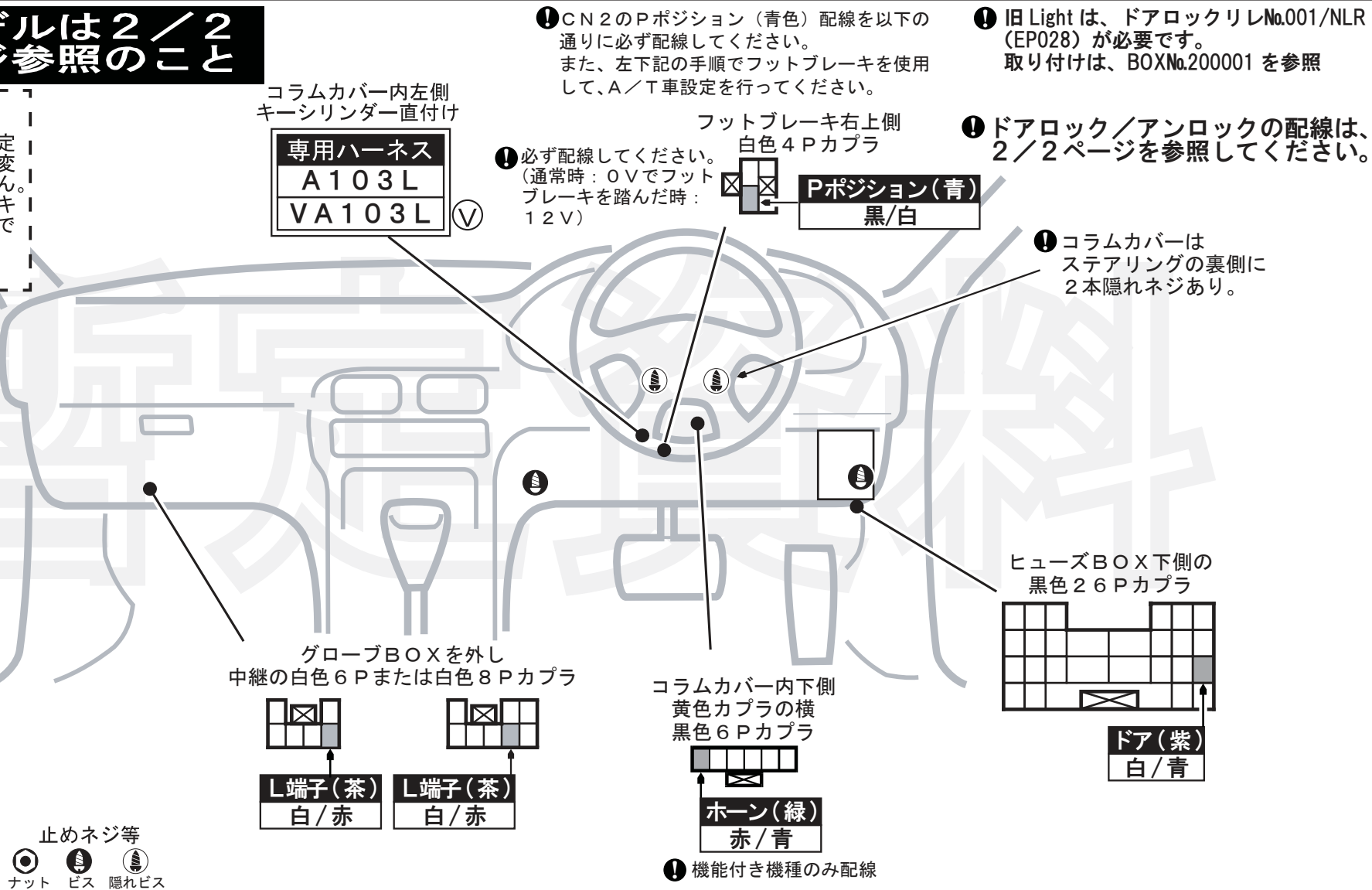
A/T車設定が必要なモデルのみ

配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ①車両のキースイッチをONにする。
- ②リモコンでSTOPを押す。
- ③車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
- ④車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤設定完了

※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容 (受信機CN2線色)
車両配線色



❶ CN2のPポジション (青色) 配線を以下の通りに必ず配線してください。また、左下記の手順でフットブレーキを使用して、A/T車設定を行ってください。

❶ 旧 Light は、ドアロックリレーNo.001/NLR (EP028) が必要です。取り付けは、BOXNo.200001 を参照

❶ ドアロック/アンロックの配線は、2 / 2 ページを参照してください。

❶ コラムカバーはステアリングの裏側に2本隠れネジあり。

❶ 機能付き機種のみ配線

❶ この資料は、メーカー発行の車両配線図をもとに作成してあります。実車での見取り結果ではありませんので、実際は異なる場合があります。取り付け時はこの図を参考にして、各信号をテスターで確認しながら配線してください。

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号は **Ⓛ** 表示です。

BOX No.370705

車両情報

ダイハツ アトレーワゴン 平成19年9月~27年4月
スバル ディアスワゴン 平成21年9月~27年4月

S32# / 33#系

2 / 2 ページ

ES-89Light

Type

Opt.

ドアロックリレーNLⅢ (EP070)

旧モデルは、オプションリレー (別売) を使用して、必ずCN2のPポジションをこのページの指示通りに接続すること。

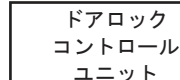
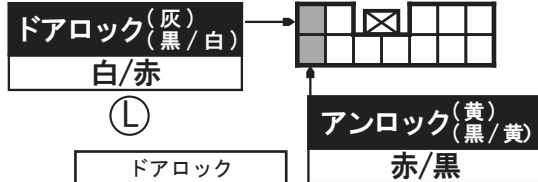
旧モデルは、このページ参照のこと

❗ 旧Lightは、ドアロックリレーNo.001/NLR (EP028) が必要です。取り付けは、BOXNo.200001を参照

該当機種：旧 ES-89Pico/Light

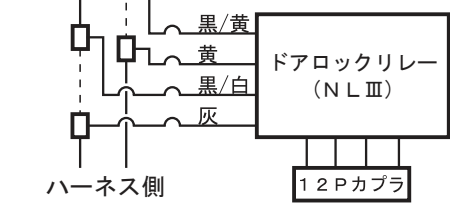
ドアロック・アンロック

グローブBOXを外し右上の
ドアロックコントロールユニット
灰色12Pカプラ



灰色12Pカプラ

❗ ドアロックリレーNLⅢが必要です。



ハーネス側
----部は車両配線を
カットする

Light CN2へ

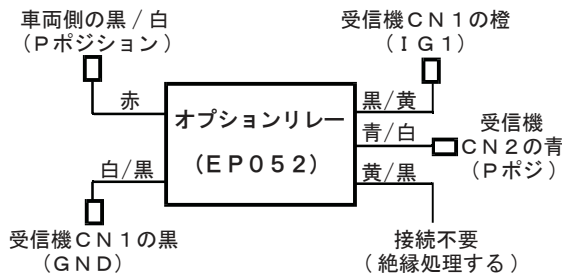
フットブレーキ上側
白色4Pカプラ

❗ 必ず配線してください。
(通常時：0Vで、
フットブレーキを踏んだ
とき：12V)

Pポジション (青)
黒/白

❗ オプションリレーの
(赤) に接続

❗ Pポジションの配線方法



- ① オプションリレー (別売) を使用して、左図のようにPポジション配線を接続してください。
- ② 受信機モードスイッチ2番をONにしてください。
- ③ A/T車設定が必要な機種は、フットブレーキでA/T車設定を行ってください。(設定手順は、左下記を参照)

配線内容 (受信機CN2線色)
車両配線色

❗ この資料は、メーカー発行の車両配線図をもとに作成してあります。実車での見取り結果ではありませんので、実際は異なる場合があります。取り付け時はこの図を参考にして、各信号をテスターで確認しながら配線してください。

車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

ES-89ProLight II の盗難発生警報装置に関する注意事項

■ES-89ProLight II (ESL24)を取り付ける場合

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、必ずヒューズ(25A)付きの専用ハーネス(VAS対応品)で取り付けをしてください。

(例)

専用ハーネス
T120L
VT120L



❗ 車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、(V) の表示をしてあります。

左記の場合、VT120LがVAS対応品です。

②初年度登録が2006年(平成18年)6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

■ES-89ProLight II (ESL24)以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧モデル(オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル)については、旧型専用ハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

ES-89ProLight II の盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight II は、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準(新保安基準)に適合しており、全国自動車用品工業会(JAAMA)の盗難発生警報装置自主基準(VAS)を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。(以下を確認してください)

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗ 該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置(機能)を使用する場合、全てのドア(バックドア等も含む)開検知が必要です。

❗ 該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット(別売)が必要になります。

③登録証(全国自動車用品工業会自主基準登録証)は、必ずお客様にお渡しください。

❗ 製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しください。
なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。